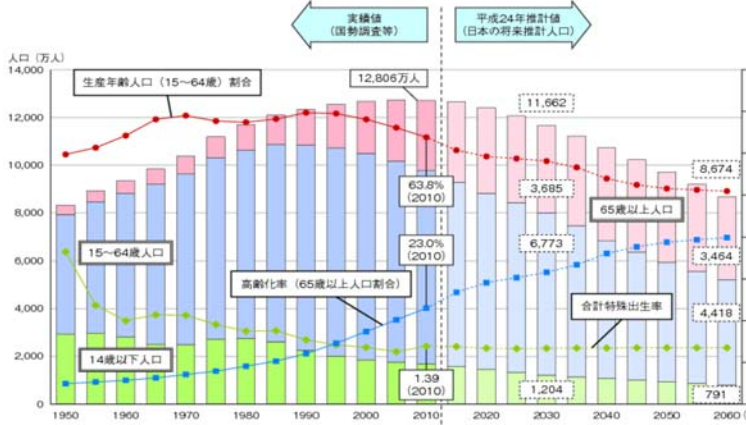


平成26年5月16日発行
 医療法人北寿会
 グループ
 介護老人保健施設
 通所リハビリ
 パワリハビリ
 訪問リハビリ
 居宅介護支援事業者
 訪問介護
 福祉用具貸与・販売
 複合型サービス
 訪問看護

複合型アップルだよ

「国民の4分の1が、65歳に」

先月の新聞報道に「日本の総人口21万人減、65歳以上25・1%に」との見出しがありました。介護保険制度が2000年（平成12年）に始まり、「いずれ国民の4分の1が、65歳になる」と言われ続けてい



性が一生に産む子供の平均数)も1.4以下となり、生産年齢人口(働いて生産活動を行う人口)も併せて減少していきます。すなわち『後期高齢者の増加』と『子供と生産年齢人口の減少』により、今後の日本の社会を支えていく新しい仕組み作りが必要となるわけです。それが厚生労働省が推進する「地域包括ケアシステム」です。

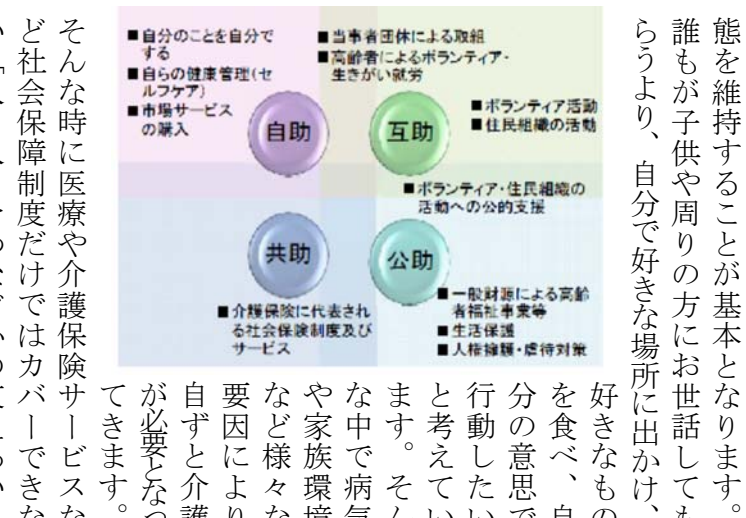
1965年 胴上げ型
 65歳以上1人に対して、20~64歳は9.1人
 2012年 騎馬戦型
 65歳以上1人に対して、20~64歳は2.4人
 2050年 肩車型
 65歳以上1人に対して、20~64歳は1.2人(推計)

このまま日本の総人口が減少し続けると、2050年には約9千人を割り込むことが予想されています。加えて合計特殊出生率(一人の女性が一生に産む子供の平均数)も1.4以下となり、生産年齢人口(働いて生産活動を行う人口)も併せて減少していきます。すなわち『後期高齢者の増加』と『子供と生産年齢人口の減少』により、今後の日本の社会を支えていく新しい仕組み作りが必要となるわけです。それが厚生労働省が推進する「地域包括ケアシステム」です。

「地域包括ケアシステム」とは？

地域包括ケアシステムを簡単にいうと「可能な限り(亡くなる最期まで)地域で生活していけるように支援する仕組み」のことです。先に書いた通り、今後高齢者(支えられる側)の増加と生産年齢人口(支える側)の減少により、高齢者を支える仕組みが変わって多量に「胴上げ型」の人口が減少していき、段々と支える側の人口が減少していき、その結果として「騎馬戦型」から「肩車型」へと変わっていき、政府としては少しでも「介護が必要でない元気な高齢者を、支える側にまわってもらう」という介護予防・自立支援を高齢者に啓蒙しています。「高齢者を支える側に」という考えは、高齢者の就業支援だけでなく、ボランティアやゴミ出しなど、できる範囲で互いに支えあえる地域作りに参加してもらうだけでは十分ではありません。昔ながらの地域交流を促す

そんな時に医療や介護保険サービスなど社会保障制度だけではカバーできない「人と人をつなぐ心の支えあい」が必要になってきます。皆さんが住み慣れた地域で最期まで生活しているかのように、まず自分自身に何ができるかを考え、できることから始めていくかが大切です。その初めの一歩が新しい地域の「輪」と「和」を作っていくかもしれません。



まずは「自分のことは自分で」

地域包括ケアシステムの考え方に「自助」「互助」「共助」「公助」の4つ捉え方があります。自助はその名の通り「自分ことは自分でする」から始まります。まず自分が健康管理を心がけることで、介護を必要としない状態を維持することが基本となります。誰もが子供や周りの方にお世話してもらい、自分で好きな場所に出かけ、好きなものを食べ、自分の意思で行動したいと考えています。そんな中で病気や家族環境など様々な要因により、自ずと介護が必要になってきます。

奈良県初！ 『複合型サービス』が始まりました。

『複合型サービス』ってなに？



介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で、これまでの生活を維持し、尊厳をもって自分らしく暮らしたい。そうしたご本人ご家族の思いに応える地域密着型サービス（介護保険適用）があります。それは小規模な施設の中に「通いサービス（デイサービス）」「泊まりサービス（ショートステイ）」「訪問介護（ホームヘルプ）」の3つのサービスに加え、「訪問看護」サービスが追加された「複合型サービス」という新しい形の施設です。「複合型サービス」は、医療依存度の高い方や、在宅看取りの支援など24時間365日対応が可能であり、小規模で家庭的な雰囲気

の施設サービスです。

『複合型サービス』の4つのサービス

訪問看護サービス

訪問看護とは、病気や障害をもった人が住み慣れた地域や家庭で、その人らしく療養生活を送れるように、看護師等がご自宅を訪問・看護ケアを提供し、療養生活を支援するサービスです。

通いサービス

（デイサービス）

1日15名の少人数制を採用。食食・夕食・入浴提供可能。
またアップル登美ヶ丘では、独自にリハビリ療法士を配置し、必要に応じてリハビリを実施しています。

訪問介護サービス

（ホームヘルプ）

ご自宅に訪問し、安全確認、排泄・更衣介助などの身体介護から、掃除・洗濯など家事支援を行います。通いサービスの顔なじみの職員が24時間訪問いたします。

泊まりサービス

（ショートステイ）

1日6名までお泊りいただける「個室」をご用意しております。通いなた場所、顔なじみの職員が対応するので安心。必要に応じてロングステイも可能。

複合型サービス ここが特徴！！

ここが特徴①

『理学療法士・作業療法士を配置して、専門的なりハビリを実施！』

「複合型サービス アップル登美ヶ丘」の新たなサービスとして、理学療法士・作業療法士を独自に配置し、リハビリが必要な方への機能訓練を行い、定期的な身体の評価を実施しています。

ここが特徴②

『看護ケアが必要な方への対応も可能！』

- 主治医と連携しながら、自宅での健康管理（バイタル測定、酸素飽和度測定）、医療処置（点滴、カテーテル管理、排便コントロールなど）、服薬管理などを行います。
- ターミナル（終末期）ケアを行う際、本人だけでなく、ご家族のこころのケアを行います。

ここが特徴③

『柔軟な送迎サービス・個別入浴で対応！』

屋からの来所・入浴などの短時間利用もでき、また夕食後の送迎も可能です。また入浴について集団で一齐に入浴するのではなく、おひとりずつの個別入浴でゆっくりお風呂を楽しんでいただけます。

ここが特徴④ 『料金は月額固定の定額制！』

複合型サービスは、要介護度に応じた月額（定額）制ですので、「通いサービス」「泊まりサービス」「訪問介護」「訪問看護」全てのサービスを必要な回数ご利用いただいても、登録料金（月額）は変わりません。（食費、宿泊費などはご利用回数に応じていただきます。）

最近では有料老人ホームや、サービス付き高齢者住宅が数多く建設され、安心のために入居される方も増えてこられました。しかし住み慣れた自宅を離れることは、ただ「家」を離れるのではなく、「友達」や「行き慣れた店」などその地域で培ってきた目に見えない「地域のふれあい」からも離れてしまうことになり、非常に頭を悩ませる問題となっています。私達、医療法人 北寿会は、介護や看護が必要になっても、住み慣れた自宅で住み続けたいという地域の皆様の思いに添えるために平成25年11月より「複合型サービス アップル登美ヶ丘」を開設しました。これからおられるご本人・家族様をご支援できればと思います。

介護老人保健施設アップル学園前

複合型サービス アップル登美ヶ丘



複合型サービス アップル登美ヶ丘 利用案内

登録定員： 25名 少人数制

- ①「通いサービス」 1日15名
- ②「泊まりサービス」 6個室完備
- ③「訪問介護サービス」
- ④「訪問看護サービス」

※必要に応じて、24時間365日訪問します。

随時 見学・体験利用
を受け付けております。

（問い合わせ） 受付時間：9時～17時30分
TEL 0742-52-9191 担当 中山

☆現在登録に若干の空きがあります。お問い合わせはお気軽に。